

『日本書紀』の物語とともに
1300年前の人々に想いを
はせながらゆかり地を
巡りましょう。

特集
ニュース

奈良を知ろう

暮らしに役立つ

お知らせ



こうげんじ
向原寺(明日香村豊浦)

巻第二十
「敏達天皇」

日本初の出家善信尼

552年、欽明天皇は百済の聖明王から釈迦仏の金銅像や経論などをもらいました。欽明天皇は「これほど素晴らしい教えは聞いたことがない」と喜び、臣下たちに礼拝すべきかどうか尋ねました。蘇我大臣稲目(蘇我馬子の父)は「諸外国はみな、こぞつて礼拝しています。日本だけが背くわけにはいきません」と言いました。一方で物部大連尾輿と中臣連鎌子は「日本では八百万の神々を祀ってきました。それを改めて外国の新しい神を拜んでしまつては、国神の怒りに触れるでしょう」と言い、真つ向から対立しました。この対立は、子の蘇我馬子、物部守屋の代にもそのまま引き継がれました。

584年、百済から二体の仏像を請い受けた蘇我馬子大臣は、国内のさまざまな場所に使者を遣わし、仏教の修行者を探させました。僧から還俗していた高麗の恵便という者を播磨国(現在の兵庫県)で見つけ出しました。蘇我馬子大臣は、この高麗の恵便を師として、司馬達等の娘

を出家させました。名前を善信尼といいます。その善信尼の弟子として、禪蔵尼、恵善尼という2人の女性も出家させました。この3人の女性が、日本で初めて出家したのでした。蘇我馬子大臣はひとり仏門に帰依し、3人の尼を崇め尊びました。



坂田寺跡

『日本書紀』では司馬達等の子である、鞍作多須奈が用明天皇の病氣治癒を願って建てられたと伝えられています。持統天皇の時代には大官大寺、飛鳥寺、川原寺、豊浦寺と並んで飛鳥五大寺の一つと呼ばれました。

第14回 全国高校生歴史フォーラム 研究レポート募集中!

奈良県と奈良大学共催の「全国高校生歴史フォーラム」を今年も開催!
奈良県、そして全国の高校生から歴史や地理、史跡、文学、人物などに関する研究レポートを募集中!詳しくは下記へ。

☎第14回全国高校生歴史フォーラム実行委員会(奈良大学) ☎0742-41-9588

全国高校生歴史フォーラム [検索](#)

26・30・31ページでプレゼントがあります!



奈良県文化資源活用課 ☎0742-27-8975 FAX0742-27-0213 詳しくは [なら記紀・万葉](#) [検索](#)